

高砂市の魅力探訪



高砂知っとこ案内

あらい浜風公園オーナー花壇-あなたも参加してみませんか!

ウォーターフロントミュージアム部会

私達は、花から多くのことを学びます。小さなタネから芽が出た時の感動、枯れてしまった時の悲しみ、花が咲いた時の喜びなど、花を育てることで様々な感情を抱くことができます。また、花は人の心を和ませ、落ち着かせ、ときには明るく励まし、私達の心を豊かにしてくれます。

「人は花を育て、花は人を育てる」と言われるように、花は大昔から私達と大きななかかわりを持ち、日常生活の中で潤いや安らぎを与える媒体としてコミュニティ形成の一翼を担っています。

阪神淡路大震災、東日本大震災においても、落ち込んだ被災者の心を癒し、ポジティブな気持ちにさせる効能があったそうです。

あらい浜風公園の中に「オーナー花壇」のコーナーがあります。現在多くの団体や家族の方が参加され花を育てています。公園の利用者にも「お花畑にきたみたい」、「心が洗われる」、「活力がわいてくる」と大好評。花を育ててみたいけれど場所がない、一人では自信がないので友達と一緒に育ててみたいなど、様々な形で参加できるスペースを設けておりますので是非ご参加ください。

詳しくは広報たかさご4月号の募集要項をご覧ください!



平成 26 年 5 月 24 日 春の植栽



平成 26 年 11 月 22 日 秋の植栽

高砂行っとこ案内

船荷のあげおろしが身近に見える展望広場や公園が高砂西港に!! 産業ミュージアム部会

昔、高砂市の臨海部は、白砂青松と呼ばれた美しい景観や肥沃な土地が人々の大きな生活の根源となっていました。その後、日本の高度経済成長に伴って多くの工場が立地する臨海工業地帯へと姿を変えていったため、海辺は市民にとって遠くなっていました。

このような歴史背景の中、平成 17 年 3 月に高砂市臨海部の活性化をめざした“高砂みなとまちづくり構想”が取りまとめられました。同構想の先導プロジェクトのひとつである“高砂西港のリニューアル”が開始され、港湾整備と盛立地対策工事は既に完了しました。また、アクセス整備では、市道沖浜平津線(南端部)の整備と臨港道路の整備に向けて取り組んでいるそうです。そして親水・水辺空間の整備では、盛立地南側部は港湾、企業群及び沖合が一望できる空間として展望広場を整備し、公共ふ頭部は駐車場やトイレなどを整備し、専用ふ頭部は築山を整備して身近に荷役などの港湾活動を実感できる空間として整備するそうです。平成 27 年度完成予定の展望広場や公園からは、船荷のあげおろしが見えるようなので、完成したら是非行ってみたいですね。

整備イメージ案



高砂で造られた「武智丸」の今 歴史ミュージアム部会

みな: 新聞に載ってたけど、昔、高砂でコンクリートの船が造られてたってほんと?

マッチ: そうだよ、太平洋戦争も終わりの昭和 17 年、18 年頃、物資不足で軍用船を作るための鉄が無く、コンクリートで船体を作ることを思いついた。京都府舞鶴市の舞鶴海軍工廠が研究、設計を受け持ち、強度や水密性を確認したんだ。それをもとに詳細な設計が行われ、大阪堂島の民間人 武智正次郎 が名乗りを上げて建造したんだ。武智氏の本業はなんと土木建築請負業で造船とは無関係だったんだ。

みな: どうして高砂が選ばれたの?

マッチ: ドックの適地を探し、奔走した武智は、貨物の積卸しに便利で雨が少ない高砂市曾根町の塩田跡地を拠点と決めて、「武智造船所」を新設したんだ。造船所のドックと言っても、当時は素掘りの粗末な造りで、天川右岸の下流に二つ並んで掘られていたようだ。

みな: 船の大きさはどれくらいで、何隻造られたの?

マッチ: 大きさは、長さ 60m、幅 10m、総トン数 840 トン、航海速力 7.5 ノット。船名は造船所の名をとって、「武智丸」といい、ここでは 9 隻が計画されたが 4 隻が進水したんだよ。

みな: その後、その船はどうなったの?

マッチ: 昭和 20 年 7 月第三武智丸は瀬戸内海の小豆島沖で触雷沈没。第四武智丸は艦装中に終戦を迎え、終戦後完成したんだけど台風で遭い 9 月に神戸沖で座礁し、のち廃船となったんだ。終戦後も残存したのは、第一・第二の二隻のみで今も広島県呉市の安浦漁港で、市民に温かく見守られて静かに余生を送っているんだって。

みな: 余生を送っているってことは、運搬などに使われているの?

マッチ: 当時、安浦漁港では防波堤がなく台風襲来のために漁船等が大きな被害に見舞われていたんだって。安浦漁協は防波堤を設置して欲しいと掛け合ったんだけど、安浦漁港沖合いの海底が軟弱で、当時の土木技術では建設に莫大な費用が掛かるとして、第一武智丸と第二武智丸の二隻を防波堤として代用する案が出されたんだ。昭和 24 年には基礎工事が開始し翌年に完成したんだ。当時の二隻は上部構造物がそのまま残されていたんだけど、朝鮮戦争特需でスクラップ価格が高騰し金属製構造物の大半は持ち去られコンクリート船体のみの現在の姿になったんだ。昨年 11 月には、安浦の人達と地元曾根町老人会の交流会が開かれ大いに盛り上がったんだよ。



平成 26 年 11 月 7 日 造船所跡地

安浦漁港の武智丸

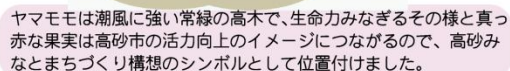
編集: みなとまちづくり瓦版つくり隊 発行: 高砂みなとまちづくり構想推進協議会
【記事等に関する問い合わせ先】
高砂市まちづくり部まちづくり推進室都市政策課 〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号
開庁時間 8:30~17:15 TEL 079-443-9033
FAX 079-443-9091

みなとまちづくり瓦版

同抄中のソノハル尉と煙

「3710」は「みなと」と読めるね！

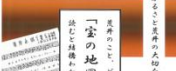
是非ともご愛読いただき、高砂市臨海部の魅力を再発見し、一緒に「まちづくり」について考えていきましょう。



公園の入り口付近の古いトイレの横に、新しいトイレが増設されました。



荒井町地域の魅力や歴史を再発見し、次世代に伝えようと活動を行っていた有志のグループ「荒井ふるさと再発見し隊」が、マップに続き平成 19 年から取りまとめてきた「宝の地図へのみちしるべ」と題した小冊子を完成させました。荒井の成り立ちや歴史ある行事の由来、まちかどで歴史を刻む道しるべの説明など、人々に親しまれている宝物の魅力満載！荒井公民館や中央公民館などでご覧になれます！



また、地元の小学生や幼稚園児への町案内もスタート。近々、「宝もんめぐり」も予定しています。興味のある方は是非どうぞ！

あらい浜風公園オーナー花壇（春・秋）
 シーズニック 2014 野外音楽フェス（あらい浜風公園）
 高砂西港周辺再整備
 高砂海浜公園等の清掃
 あらい浜風公園 夕陽の写真展
 天竺徳兵衛生家跡サイン（石柱）設置

高砂市制 60 周年記念事業の 1 つとして、高砂町向島町の「日本の白砂青松百選」に選ばれている県立高砂海浜公園で高砂青年会議所が主催して「ナイトファンタジーイリュージョン ～60 年目の奇跡～」が開催されました。松林は地元の高校生により約 1 万個の LED で装飾され、浜辺では夜空が、音楽に合わせレーザー光線と花火で彩られ、訪れた大勢の観衆は幻想的な夜を楽しみました。



地元有志グループ「たうんトレイル伊保」が、住んでいる地域の歴史や史跡を探索しながらまち歩きを行っています。皆さん熱心に勉強されています！



中筋の白矢薬師を探索する様子

